

製品名: PPP2R5D ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87604**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:20-1:50,IP 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:70 kDa; Observed MW:70,66 kDa

抗原情報

遺伝子名	PPP2R5D
別名	B56D; MRD35; B56delta
遺伝子 ID	5528
SwissProt ID	Q14738
免疫原	ヒト PPP2R5D の組み換えタンパク質

背景

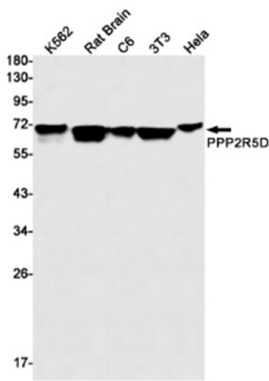
この遺伝子産物は、ホスファターゼ 2A 調節サブユニット B ファミリーに属する。タンパク質ホスファターゼ 2A は、4つの主要なセ

リン/スレオニンホスファターゼの一つであり、細胞増殖および分裂の負の制御に関与している。共通のヘテロ多量体コア酵素から成り、このコア酵素は触媒サブユニットと定常調節サブユニットから構成され、定常調節サブユニットは様々な調節サブユニットと会合する。B調節サブユニットは、基質選択性と触媒活性を調節する可能性がある。この遺伝子は、調節サブユニット B56 サブファミリーのデルタアイソフォームをコードしている。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが同定されている。[RefSeq 提供、2008年7月]

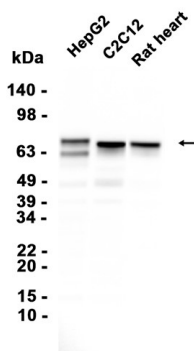
研究分野

-

画像データ



PPP2R5D 抗体 (1:1000 希釈) を使用した K562、ラット脳、C6、3T3、Hela 細胞溶解物中の PPP2R5D のウエスタンブロット検出。



AMRe87604 を 1:5000 で使用して、HepG2、C2C12 細胞およびラットの心臓組織からの抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。